

# 白山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

本日(29日)03時頃から、白山で火山性地震が増加しています。火山活動がやや高まっていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。  
本日08時00分に火山の状況に関する解説情報(臨時)を発表しています。  
噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)の予報事項に変更はありません。

## 活動概況

本日(29日)03時頃から、白山の山頂(御前峰)付近直下を震源とする火山性地震が増加しています。29日00時から09時までの地震回数は281回です。白山で、1日あたりの地震回数が200回を超えたのは、2005年12月の観測開始以来初めてです。最大の地震は05時06分に発生したマグニチュード2.8(速報値)で、白山市白峰で震度1を観測しました。  
低周波地震や火山性微動は発生していません。  
監視カメラによる観測では、山頂付近の状況は視界不良のため不明です。

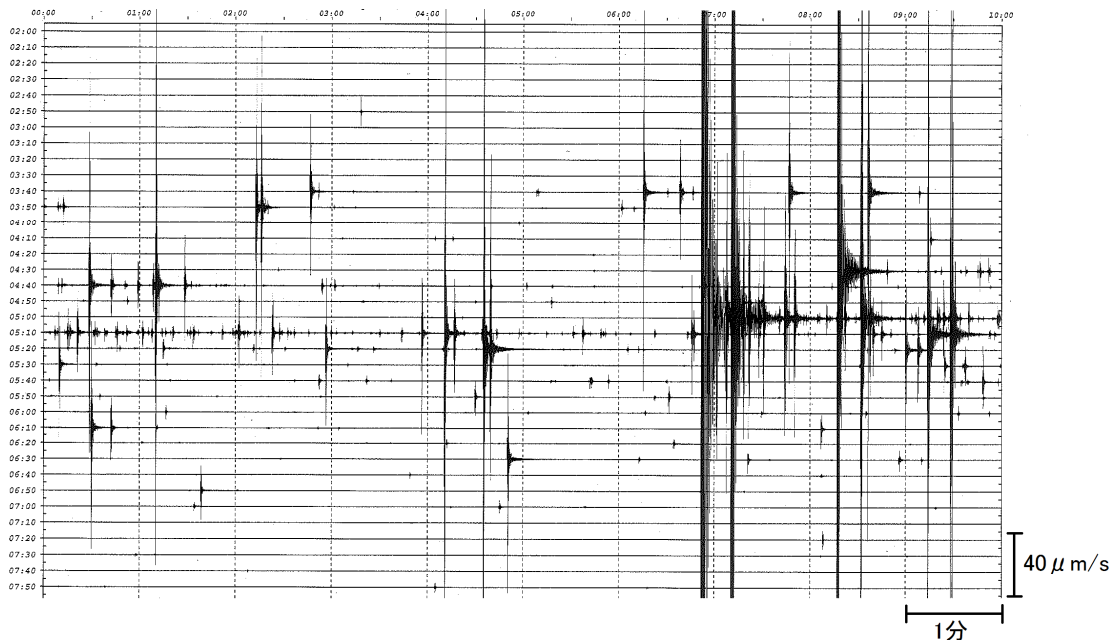


図1 白山 中飯場観測点地震波形(上下動速度)(2017年11月29日02時~08時)

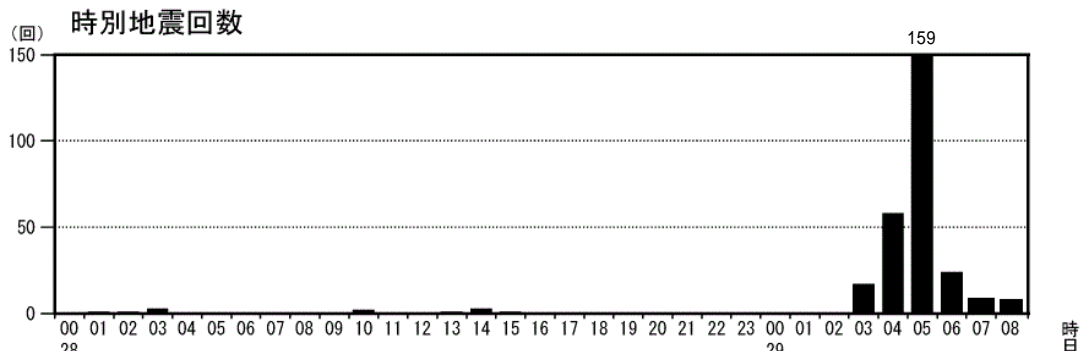


図2 白山 特別地震回数(2017年11月28日00時~2017年11月29日09時)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ([http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_vact\\_doc/monthly\\_vact.php](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_vact_doc/monthly_vact.php))でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号:平26情使、第578号)。

【計数基準の変遷】

初期 2005 年 12 月 1 日 ~ 2011 年 9 月 30 日 弥陀ヶ原：振幅 1.0  $\mu\text{m/s}$ 、S-P 時間 1.5 秒以内  
 変更 2011 年 10 月 1 日 ~ 2014 年 9 月 18 日 中飯場：振幅 1.0  $\mu\text{m/s}$ 、S-P 時間 1.7 秒以内  
 変更 2014 年 9 月 18 日 ~ 弥陀ヶ原：振幅 1.0  $\mu\text{m/s}$ 、S-P 時間 1.5 秒以内

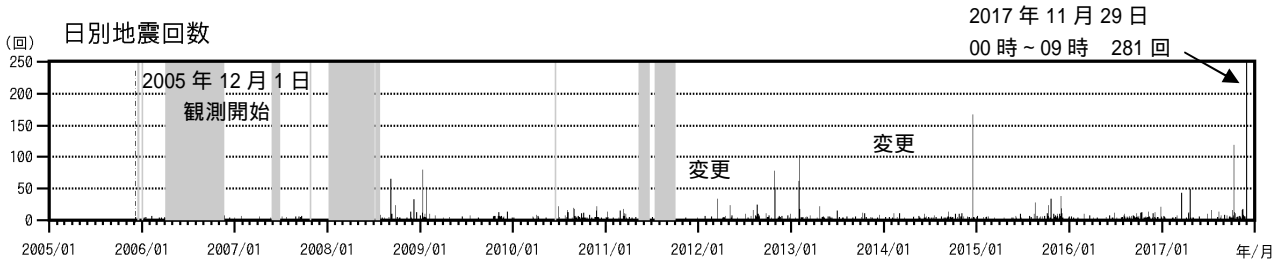


図 3 白山 日別地震回数 (2005 年 12 月 1 日 ~ 2017 年 11 月 29 日)

・ 図の灰色部分は機器障害による欠測期間

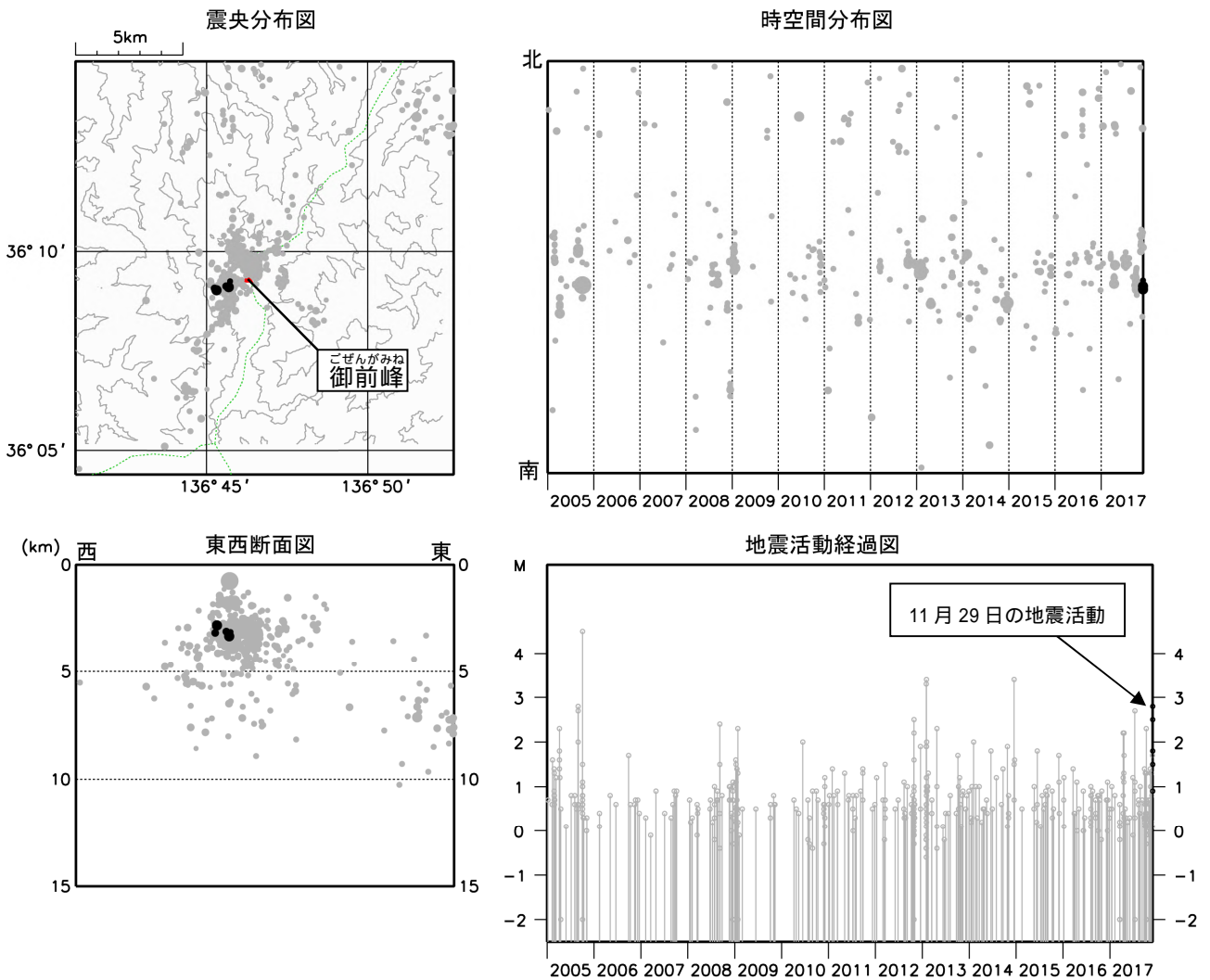
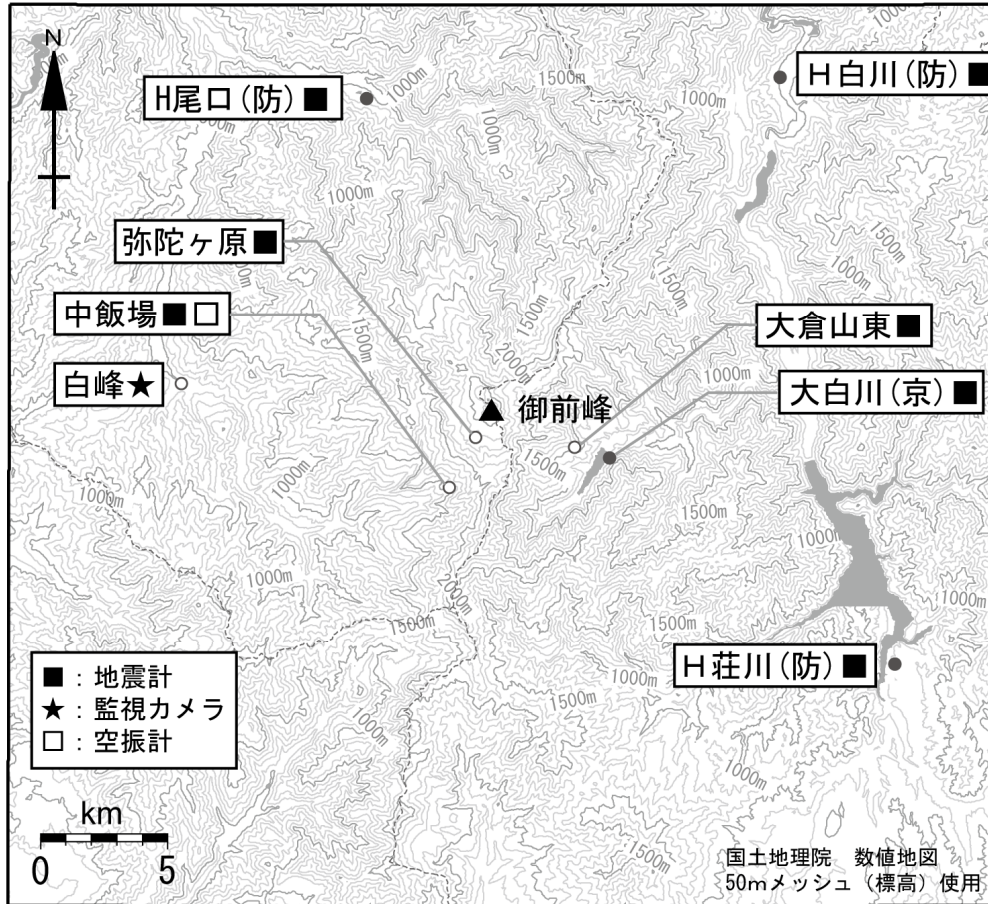


図 4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動 (2005 年 1 月 1 日 ~ 2017 年 11 月 29 日)

: 2005 年 1 月 1 日 ~ 2017 年 11 月 28 日 : 2017 年 11 月 29 日

- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を表します。
- ・ 図中の震源要素の一部は暫定値が含まれています。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(防) : 防災科学技術研究所、(京) : 京都大学防災研究所

図 5 白山 観測点配置図